

1、農道整備の目的

基幹的農道は、農産物・農業資材等の流通のために一般道などと連結する目的で整備される農道である。その効果は、消費地への出荷などアクセスの向上が図られる。また、ほ場内農道は、通作、農産物の搬出、農業資材の搬入、農産物の収穫など、主に営農活動向上の目的で整備され、生産性の効率化を高めることが出来る。

2、計画策定上での技術的留意点

2-(1)路線配置計画

路線配置計画は、農道の機能に応じて安全かつ円滑な交通が図れるよう農業生産活動の利便性、農業施設の配置状況、道路現況及び自然条件等について総合的な検討を行い決定するものとする。

2-(2)設計速度

設計速度は、線形計画を作成するための計画基礎諸元であり、農道の機能に応じて適切に決定するものとする。

2-(3)線形計画

線形計画は、計画交通量、将来の交通形態、路線配置計画、設計速度及び横断面計画等との整合を図り、地形、土地利用、線形の連続性、平面線形及び縦断線形との調和を考慮の上、曲線半径及び縦断勾配等を決定するものとする。